

科目名	工芸論			科目コード	0205
開講学科	共通専門科目	単位数	4	形態	講義
教員名	井関和代				
授業の目的及びテーマ					
我々の生活に欠くことのできない工芸品は、生活を豊かにすることを目的に製作がなされる。その文化的背景には精神性や物質性、また地域性や時代性が大きな要素となる。そこで本科目では「工芸とは何か」について考え、明治以降から造形教育の一つとしてなされてきた経緯を理解するとともに、その概論を学び、今日の「工芸」の位置を把握・理解することを目的とする。					
授業概要					
各地域の工芸史を探ると、その中に〈様式〉や〈流派〉といった流れを見出すことになる。また、各々の地域の材料と技術、時代、その他、さまざまな要素によって変遷し発達してきたこと明らかである。本科目では、そのような背景を受講者自らが通覧し、近代から現代に至る工芸界の新しい潮流について考察を行ってゆく。					
授業計画					
第 1 回：授業概要と受講ガイド学習指導について 第 2 回：習指導について 第 3 回：工芸とは何かー 1 第 4 回：工芸とは何かー 2 第 5 回：工芸とは何かー 3 第 6 回：工芸の分類 第 7 回：竹工芸 第 8 回：織物 第 9 回：染色 第 10 回：陶芸 第 11 回：ガラス・七宝 第 12 回：金属工芸 第 13 回：木材工芸 第 14 回：文化財と無形文化財・工芸の在り方、新しい工芸観とは。 第 15 回：課題についての説明					
テキスト	『工芸の見かた・感じかた』 国立近代美術館工芸課編		参考文献	各回で紹介	
評価方法：					
通信授業は提出課題4件を以って評価する 提出レポートに引用した参考文献の引用箇所を表記すること（指導書を熟読し、その指示に従って表記すること）また、参考文献も文末に明記してください。（文献の記述されないレポートは採点対象とはなりません。注意してください） レポートをまとめて提出されるよりも、むしろ課題を一つずつ熟考して提出してください。					